

科目	ゼミナール I (I)	担当	崔 俊	履修学年	3年
時間数	90分×時限×16回(週1回)	履修区分	必修	単位数	2単位

**【授業目標・到達目標】**

3年生になったら専門科目に対するより深度深い学習に入るとともに、将来のための具体的な計画が必要な時期になる。ゼミナールIでは、人材開発コンサルティングで活用している`自己開発プログラム`を応用し、自己分析、未来の目標発見、職業に対する価値観などに対する分析を通じて、社会人として生きていくための`自分づくり計画`を考える。これに基づいて将来の夢とその実現方法を探るために、グローバル的な視点を含め、幅広い観点から人生・社会・組織・企業に対する探索をしながら、その中で自分の未来を描いていき、それを具体的な形にする実践計画書を作成することを目標にする。

**【履修注意】**

- ・ゼミにおいては、授業参加を最優先するので、出席と課題の提出は徹底すること
- ・関心を持っているある組織や企業、分野(テーマ)に関して常に関心をもって、その関連事項に対して議論ができるように考えること

**【評価方法】**

- ・定期試験なし、レポート30%、授業中課題や参加度40%、出席30%(出席点は欠席回数により減点)

**【試験について】**

- ・期末に15回の授業内容に対する総整理の意味に兼ねて、夢実現計画をレポートとして提出(ゼミの進めによって、違うテーマのレポートになる場合もある)
- ・基本的に筆記の再試験は行わないが、全体の評価で60点に達しない場合には、50点以上、60点未満で、最低11回以上

出席している学生に対して、レポートの再提出あり

**【予習・復習】**

- ・授業中出される課題(自己分析プログラム)の充実な遂行とともに、毎回授業内容に対して自分の考えを整理してみる
- ・予習・復習を推奨する。

**【教科書】**

- ・指定教科書はない。WBTにアップロードするPP講義資料
- ・自己分析ツールとしてのMBTI、DBMツール等に関連する配布資料ですすめる。
- ・最新最強のエントリーシート(自己PR・志望動機)関連本、毎年最も適切だと思われる本を選定使用(ゼミで購入)(前期には一部参考)

**【参考書】**

- ・『人を動かす』、Dale Carnegie、山口博訳、創元社、1999(2011第65刷)
- ・『輝く女性の生き方100(2)』、三根早苗編、本の泉社、2006
- ・『自己実現』、Napoleon Hill、田中孝顕訳、きこ書房、1997(2003第9刷)

**【その他の注意事項】**

**【授業計画・内容】**

回数	項目	内容
1	ゼミ・オリエンテーション	前期ゼミの進め方の説明と自己紹介
2	人生計画の設計の基礎：経営と人生	・(人生)経営とは・自己開発および進路計画プログラムの概要とゼミでの目標確認
3	夢、ビジョン、目標と価値観探索	・私の夢、目標と価値基準は？・私は何にやりがいとストレスを感じるのか？
4	職業価値観分析1	・Career Anchor(経歴の錨)分析・潜在的好き、嫌い
5	職業価値観分析2	・Life Embedded Interest(一生追求成就動機)分析・仕事、職業とは
6	自分の力量分析	・過去の記憶に残るイベント分析を通じて、自分の核心力量探索・本当の能力とは
7	私の性格は？	・MBTI分析(リーダーシップスタイル、潜在的特性、職業的特性等)・性格の本質を考える
8	私の職業的特性分析	・仕事人としての私の性格的特徴・仕事をやる理由と求めること
9	仕事と業種、職業の探索	・社会、組織、仕事・自分の望む、向いているといわれる職業、仕事、業種特性探索
10	グローバル視点の探索 1	・世をどう見るか・家族は、職場は、社会は、グローバルとは
11	グローバル視点の探索 2	・私は何をみているのか・入りたい企業・組織、やりたい仕事
12	人生の成功戦略案作成	・夢の再確認・目標設定、必要条件整理、ギャップ分析、実践計画設計
13	自分を考える(自己紹介書)作成	・基本的な履歴書の書き方・目標の整理・紹介
14	自分を考える(未来計画書)作成	・現実の中で夢の形化・将来の希望進路に基づいた志望動機の確認と、実践計画
15	自分の未来を考える	・名士の言葉から見る人生成功の法則・後期の準備と今後の計画総整理
16	期末整理	夢実現計画、自分づくり計画の完成